

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：児島マリンプール

【2023/12/27】

女子3位決定戦

山口水球クラブ 12

5	—	2
3	—	2
1	—	6
3	—	6

16 千葉県選抜

PSO

武松 直輝

審判:

佐藤 凜瑠

この試合のプレー集計

山口水球クラブ	25	SH数	37	千葉県選抜
	0	速攻数	9	
	7	ST・SB	11	
	8	SH・P誘発アシスト	10	
	30%	GK阻止率	37%	
	6	EX反則数	11	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

今大会の3位決定戦は予選グループの再戦となった。予選グループでは千葉県選抜の速い攻撃に苦しめられた山口県選抜がどこまで対策してくるのか、それともまたもや千葉県選抜らしい速い水球で圧倒するのか。多くの期待を寄せた3位決定戦になった。

【1P】

試合開始早々から流れは山口県選抜だった。山口県選抜はチーム全体でディフェンスが徹底されていた。千葉県選抜に遠い距離や角度のないところからシュートを打たせて守り、センター攻撃を中心として、攻撃の終わり方を考えて全員がプレーし、千葉県選抜に速攻を仕掛けさせなかった。千葉県選抜は山口県選抜の作戦にハマってしまい、シュートは打つもののポストや枠外等とゴールに嫌われてしまった。試合中に千葉県選抜の吉里監督の激が多く聞こえ、これからどんな違いを見せるのか期待である。

【2P】

千葉県選抜は焦りからなのか、先程に引き続きシュートを早く打ってしまい自滅状態になっていた。持ち味である速い攻撃は見られず、山口県選抜の策にはまっていく。確実に得点を重ねていく山口県選抜に対してシュートは打つもののように攻撃出来ず不完全燃焼な千葉県選抜の構図になった。

【3P】

第3ピリオドからは千葉県選抜が今までとはまるで別チームになる。持ち味である、ハイプレスから速攻を仕掛け山口県選抜のゴールに襲いかかる。前半は相手のシューターに対して中途半端に下がりディフェンスしていたが、ハイプレスや下がるところを明確にしたことで、チーム全体が明らかに変わった。本来の持ち味を発揮した千葉県選抜がこのピリオド6点を奪い、4点差あったが逆転に成功した。

【4P】

千葉県選抜が1点リードで迎えた最終ピリオド。やはり千葉県選抜の流れは止まらなかった。千葉県選抜②柴田、⑫傍島を中心とした素早い攻撃で4連続得点し、勝負を決めにかかる。しかし、山口県選抜⑤亀井の退水やペナルティファールの誘発等の高い個人能力を示し、簡単には勝負を決めさせない。結果的には後半の怒涛の千葉県選抜の攻撃を魅せ、16-12で千葉県選抜が勝利した。